

## 宮古諸島のカマキリ類（カマキリ目：カマキリ科）

小浜 継雄（沖縄県宜野湾市）・砂川 博秋（沖縄県宮古島市）

宮古諸島から、これまでに5種のカマキリが記録されている（岡田、2001；佐々木、2002；青柳、2015；中峯、2016；大島、2018；大島・瑤寺、2019）。筆者らは、2012年から2016年に、宮古諸島においてカマキリ類の分布調査を行い、宮古諸島新記録となるヒナカマキリを含む4種のカマキリを採集した。今回の調査では得られなかったが、既に宮古諸島から記録のある2種を含め、宮古諸島のカマキリ類としてまとめたので報告する。

報告に先立ち、宮古諸島における昆虫相調査において、種々便宜を図っていただいた宮古島市史編さん室の方々にお礼を申し上げる。

### 宮古諸島のカマキリ目録

採集標本データは、島別に、個体数、採集日、採集場所（小島嶼については省く）、採集者（小浜継雄はTK、砂川博秋はHSと略記した）の順に示した。

#### 1. ヒナカマキリ *Amantis nawai* (Shiraki, 1908) (図1)

##### [採集標本データ]

宮古島:1♀, 19. V. 2013, 野原岳(TK)

宮古諸島新記録。本個体は、野原岳の大嶽公園東斜面の常緑広葉樹林で見つかった。標本データについては別に報告している（小浜・砂川、2020）。

本種は、おもに常緑広葉樹林の林床に生息する短翅で小型のカマキリ（体長は雄12～15mm、雌13～18mm）である（岡田、2001；中峰、2016）。宮古諸島には森林がかなり少なく、本種の生息地は限定されと考えられる。

#### 2. ウスバカマキリ *Mantis religiosa* (Linnaeus, 1758)

宮古諸島においては、宮古島、池間島、多良間島（岡田、2001；佐々木、2002；中峯、2016；大島、2018；青柳、2018；大島・瑤寺、2019）から記録されているが、筆者らの調査において標本は得られていない。

草地性のカマキリで（岡田、2001；中峰、2016）、沖縄県版レッドデータブックでは準絶滅危惧種とされている（杉本、2017）。

#### 3. スジイリコカマキリ *Statilia nemoralis* (Saussure, 1870) (図2)

##### [採集標本データ]

宮古島:1♂, 14. V. 2015, 野原越(TK); 1♂, 8. X. 2016, 野原越(TK)

宮古諸島においては、宮古島から記録されている(青柳、2015;大島、2018;大島・瑤寺、2019)。

林縁や草地の地表付近に生息する(岡田、2001;中峯、2016)。

4. カマキリ (チョウセンカマキリ) *Tenodera angustipennis* Saussure, 1869 (図 3)

[採集標本データ]

宮古島:1♀, 9. VIII. 2012, 大野山林(HS);1♂, 15. VIII. 2012, 大野山林(HS)

伊良部島:1♂, 4. IX. 2015, 牧山(TK)

別名ムナビロカマキリ。宮古諸島においては、宮古島と伊良部島から記録されている(岡田、2001;佐々木、2002;中峯、2016;大島、2018;大島・瑤寺、2019)。

草地、林縁に生息する(岡田、2001;中峯、2016)。

5. マエモンカマキリ *Tenodera fasciata* (Olivier, 1792)

別名オキナワオオカマキリ。宮古諸島においては、宮古島(岡田、2001;佐々木、2002;中峯、2016;大島、2018;大島・瑤寺、2019)から記録されているが、今回の筆者らの調査において標本は得られていない。

草地性のカマキリ(岡田、2001;中峯、2016)。

6. ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera* (Audinet-Serville, 1839) (図 4)

[採集標本データ]

宮古島:1♀, 9. VIII. 2012, 大野山林(HS);1♂, 14. V. 2015, 大野山林(TK)

池間島:1♀, 29. VII. 2014(TK)

伊良部島:1♂, 6. VII. 2013, 牧山(TK)

池間島と伊良部島から新記録。

本種は、宮古諸島においては、宮古島と来間島から記録されていた(岡田、2001;佐々木、2002;中峯、2016;大島、2018)。

樹上性で、林縁の草地でも見られる(岡田、2001;中峯、2016)。

今回の調査で得られたカマキリ 4 種のうち、ヒナカマキリは宮古諸島から新記録、ハラビロカマキリは池間島と伊良部島から新記録である。

宮古諸島から、これまでに 5 種のカマキリが記録されていた(岡田、2001;佐々木、2002;青柳、2015;中峯、2016;大島、2018)ので、今回の調査で確認されたヒナカマキリを加えると、宮古諸島から記録されたカマキリは 6 種(いずれもカマキリ科に属する)になる。島ごとに記録されたカマキリ類の種数をみると、宮古島から 6 種、池間島 2 種、来間島 1 種、伊良部島 2 種、多良間島 1 種で、宮古島を除くと記録された種数は少ない。しかも大神島、

下地島および水納島からはカマキリ類の記録がない。このように、宮古諸島においては、宮古島以外の島におけるカマキリ類の分布調査は不十分と考えられる。

#### 引用文献

青柳 克 (2015) 沖縄・宮古諸島における直翅系昆虫 (ゴキブリ・カマキリ・バッタ) の分布追加記録. 琉球の昆虫(39): 219-224.

青柳 克 (2018) 多良間島からウスバカマキリの記録. 琉球の昆虫(42): 124.

小浜継雄・砂川博秋 (2020) 宮古諸島初記録のヒナカマキリ. 月刊むし (投稿中).

中峯 空 (2016) カマキリ目. 日本直翅類学会編, 日本産直翅類標準図鑑: 198-205. 学研プラス, 東京.

岡田正哉 (2001) 昆虫ハンター カマキリのすべて. 63pp. トンボ出版, 大阪.

大島千幸 (2018) 沖縄島北部属島におけるカマキリ目 6種の初記録. 昆虫ニューシリーズ 21: 151-160.

大島千幸・瑤寺 裕 (2019) 沖縄県伊江島におけるカマキリ目 5種の初記録. *Fauna Ryukyuan*, 51: 1-7.

佐々木健志 (2002) カマキリ目. 東 清二 (監修) 増補改訂 琉球列島産昆虫目録: 47-49. 沖縄生物学会. 沖縄・西原.

杉本雅志 (2017) ウスバカマキリ. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版 (動物編) - レッドデータおきなわ: 383. 沖縄県環境部自然保護



図 1. ヒナカマキリ♀ (宮古島産)



図 2. スジイリコカマキリ♂ (宮古島産)  
スケールバー : 5cm



図 3. カマキリ♂ (伊良部島産)  
スケールバー : 5cm



図 4. ハラビロカマキリ♂ (宮古島産)  
スケールバー : 5cm